

タイルの基礎知識

改定：令和4年8月3日

タイルの基礎知識

セラミックタイルの材質について

セラミックタイルは材質によって屋外や水がかりする場所での使用に向かないなど、使用条件が変わります。使用場所や目的に応じた材質の選択が重要となります。

磁器質（Ⅰ類）	1230℃以上で焼成され、緻密で強度のある材質です。吸水性がほとんど無いため水に濡れる場所での使用にも適しており、以下の2つに比べて用途も広くなります。（吸水率：3.0%以下）
せつ器質（Ⅱ類）	磁器質に比べると若干の吸水性があるため、プールや浴槽、屋外床面での使用にはやや適していません。磁器質に比べ暖かみのあるやわらかい発色が特長です。（吸水率：10.0%以下）
陶器質（Ⅲ類）	吸水性が高いため屋外での使用は適さない場合が多いですが、低温焼成のため鮮やかな発色を作れるのが特徴です。国産タイルには少ない材質です。（吸水率：50.0%以下）

機能面においては磁器質のタイルが最も優れていますが、内装の装飾用タイルとしてはせつ器質、陶器質も十分な機能を備えています。（材質以外の適正条件もございますので、実際の施工場所との適正は各商品ごとに掲載されている使用場所適正マークを必ずご確認ください）

ユニットタイルについて

モザイクタイルや一部のタイルは、予め30センチ角程度のシート（ユニットタイル）で販売をしています。ユニット化のタイプにより、施工手順が一部変わってまいります。

表紙張り（おもてかみばり）ユニット

タイルのおもて面に、水で剥がせる糊で紙を張り付けてユニット化しています。

紙はシートを施工面に張りつけてから剥がすため、接着剤硬化前にタイルの位置を微調整することもできます。

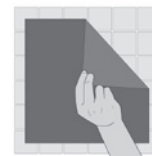
施工の手順



①紙を外側にして接着剤に押し付ける。



②お湯で紙を湿らせる。



③3分おいて紙を剥がし糊を拭き取る。

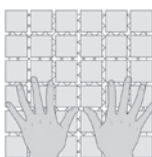


④目地を入れて仕上げる。

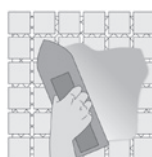
裏ネット張りユニット

タイルの裏面にネットを張り付けてユニット化しています。ネットごと張りつけるため、手順が少なく簡単に施工を行うことができます。

施工の手順



①ネットを下にして接着剤に押し付ける。



②目地を入れて仕上げる。

※裏ネット張りユニットは接着剤で施工してください。

※目地幅の狭い商品は、塗り目地無しで仕上げることも可能です。ネットの色と下地・接着剤の色がなるべく同じになるよう予めご確認ください。

タイルの基礎知識

日々のお手入れについて

メンテナンスを行うことで本来の機能や美しさを長く維持することができます。(以下の情報は一般的なセラミックタイルのお手入れ方法です)

場所	お手入れの方法	掃除用品	注意事項
浴室壁・床	<ul style="list-style-type: none"> ●水をかけ、浴室用中性洗剤をかけてこすり洗いし、水で流してください。 ●目地にカビが付着した場合は市販のカビ取り剤をかけて5～10分放置してからこすってください。 ※水がタイル表面に残らないよう拭き取って乾かしてください。	ブラシ 浴室用中性洗剤 カビ取り剤	<ul style="list-style-type: none"> ●カビ取り剤を使用するときは換気をしてください。 ●洗剤の使用上の注意をよく読み、混合による有毒ガス発生などに注意してください。 ●研磨剤入りのスポンジは傷の原因になるため使用しないでください。
営業用浴室床	<ul style="list-style-type: none"> ●水をかけ、浴室用中性洗剤をかけて不織布ナイロンブラシや電動ポリッシャーでこすり、2-3分置いた後十分に水洗いしてください。 	不織布ナイロンブラシ 電動ポリッシャー 浴室用中性洗剤 塩素系漂白剤	<ul style="list-style-type: none"> ●洗剤成分はしっかり水洗いしてください。 ●洗剤の使用上の注意をよく読んで正しくご使用ください。 ●研磨粒子入りのパッドやブラシは使用しないでください。
室内床	<ul style="list-style-type: none"> ●掃除機や拭き掃除でほこりを除去してください。 ●取りにくい汚れはメラミンスポンジを使用したり、ナイロンスポンジに中性洗剤をつけてこすり洗いしてください。 	掃除機 雑巾 ナイロンスポンジ メラミンスポンジ 住宅用中性洗剤	
キッチン	<ul style="list-style-type: none"> ●油污れはレンジ用洗剤をつけた布巾などで拭き取ってください。 ●目地の汚れは薄めた塩素系漂白剤を付けた布巾などでたたくようにして汚れを吸い取ってください。 	布巾 レンジ用洗剤 漂白剤	<ul style="list-style-type: none"> ●漂白剤を使用する際は換気を行って下さい。 ●洗剤の使用上の注意をよく読み、混合による有毒ガス発生などに注意してください。
玄関床（屋内）	<ul style="list-style-type: none"> ●砂やほこりは箒や掃除機で除去してください。 ●水をかけ、タワシやデッキブラシでこすり洗いしてください。 ●取りにくい汚れは水で薄めた中性洗剤を使用してください。 	箒 掃除機 タワシ デッキブラシ 中性洗剤	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄後は汚れのついた水をきれいに拭き取ってください。
屋外床	<ul style="list-style-type: none"> ●水をかけ、布や柔らかいブラシでこすり洗いたあと、十分に水洗いしてください。 ●取りにくい汚れは水で薄めた中性洗剤を使用し、たわしやデッキブラシでこすり洗いしてください。 	箒 デッキブラシ 電動ポリッシャー（ナイロンブラシのもの） 中性洗剤	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄後は汚れのついた水をきれいに拭き取ってください。 ●研磨粒子入りのパッドやブラシは使用しないでください。
住宅外装壁	<ul style="list-style-type: none"> ●水をかけ、布や柔らかいブラシでこすり洗いたあと、十分に水洗いしてください。 ●取りにくい汚れは水で薄めた中性洗剤を使用し、たわしやデッキブラシでこすり洗いしてください。 	布 柔らかいブラシ 中性洗剤	<ul style="list-style-type: none"> ●金属のたわしやブラシは使用しないでください。 ●シンナーや塩素系潜在などの薬品は使用しないでください。 ●高圧洗浄機（家庭用含む）などの危機は使用しないでください。

※タイルによっては酸性の洗剤で変色する釉薬が使用されている場合があります。各商品ページでご確認ください。

※上記では落とせない汚れは専門のクリーニング業者にご相談ください。

タイルの基礎知識

施工場所と推奨施工法

タイルパークでは、内装の壁と床用タイルを主軸にラインナップしています。タイルパークが推奨する下地と施工方法の組み合わせを、タイルの大きさ・施工場所別に紹介します。

	300角未満	300角～	600x300角～	備考
内装壁	【下地】 ボード、モルタル 【施工法】 接着剤張り	【下地】 ボード、モルタル コンクリート 等 【施工法】 接着剤張り (※1) (※2)	【下地】 ボード、モルタル コンクリート 等 【施工法】 接着剤張り (※1) (※2)	(※1) 弾性接着剤を使用してください。 (※2) 3m以上の高さに施工する場合、建物の構造や下地条件により施工方法が異なりますので施工業者にご相談ください。
外装壁	【下地】 モルタル、コンクリート 【施工法】 接着剤張り、圧着張り 等	【下地】 モルタル、コンクリート 等 【施工法】 接着剤張り (※3) (※4)	【下地】 モルタル、コンクリート 等 【施工法】 接着剤張り (※3) (※4)	(※3) 弾性接着剤を使用してください。 (※4) 建物の構造や下地条件により施工方法が異なりますので施工業者にご相談ください。
内装床	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、圧着張り セメントペースト張り (※5) ----- 【下地】 ボード 【施工法】 接着剤張り	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、圧着張り ----- 【下地】 ボード 【施工法】 接着剤張り	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、改良圧着張り ----- 【下地】 ボード 【施工法】 接着剤張り	(※5) 小面積への施工
外装床	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、圧着張り セメントペースト張り (※6)	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、圧着張り	【下地】 モルタル 【施工法】 接着剤張り、改良圧着張り	(※6) 小面積への施工

タイルの基礎知識

基本の施工方法（壁施工）

壁施工の基本的な工法として「接着剤張り工法」を紹介します。（※ 接着剤の適正や用法は接着剤メーカーの指示する方法に準拠してください）

接着剤張り

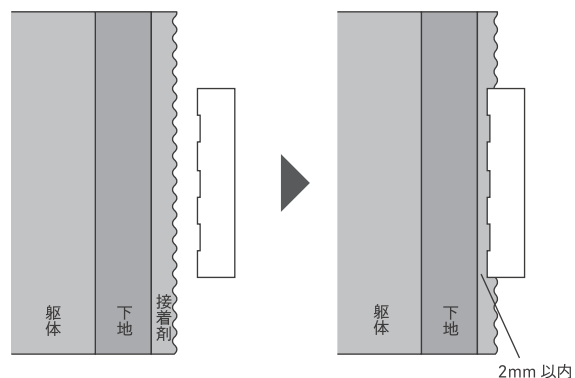
接着剤を3mm～5mmのクシ目ごてを用いて塗布し、張り付けます。

※ 1回あたりの塗布面積は接着剤の張付け可能時間内に張り終える面積としてください。

※ 下地は汚れを除去し、乾燥した状態にしてください。

※ モルタル下地の場合は金ごて仕上げとします。

※ タイル裏面の接着剤付着率は60%以上必要です。



内装ボード下地について

場所によってボードの選択が変わってきます。以下は代表的な事例を挙げたもののため、実際の水かかりの程度を考慮してボードの選定をおこなってください。

下地	非水回り	せっこうボード / シージングせっこうボード / 耐水合板
	キッチン 洗面脱衣所	シージングせっこうボード / ケイ酸カルシウム板 / 耐水合板
	浴室 シャワー室	デラクリートセメントボード

タイルの基礎知識

基本の施工方法（床施工）

床施工の基本的な工法として「接着剤張り」「圧着張り」「セメントペースト張り」「改良圧着張り」を紹介します。（※接着剤の適性や用法は接着剤メーカーの指示する方法に準拠してください）

■ 内装床（モルタル、ボード下地）への施工

接着剤張り

接着剤を3～5mmのクシ目ごてを用いて塗布し、タイルを張り付けます。

- ※ 下地は汚れを除去し、乾燥した状態にしてください。
- ※ 接着剤は下地全面に塗布してください。部分的に接着剤を付けると、荷重や衝撃によりタイルにひび割れが発生する恐れがあります。
- ※ タイル裏面の接着剤付着率は60%以上必要です。



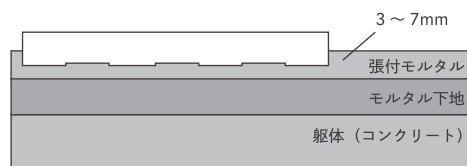
ボード種類	I類合板 12.0mm厚以上（根太ピッチ 303mm以下）
-------	-------------------------------

■ コンクリート下地への施工

圧着張り

張付モルタルは二度塗りして均してください。
タイルをもみこむように張り、ハンマーなどでたたき押さえを行います。

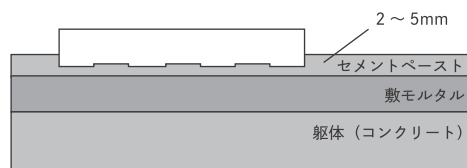
- ※ 下地は汚れを除去してください。



セメントペースト張り（小面積や300角未満のタイルの施工）

敷きモルタル（バサモルタル）を均一に敷き、木ごてなどで締固め、硬化する前にセメントペーストを塗布します。
タイルを張り付けハンマーなどでたたき押さえを行います。

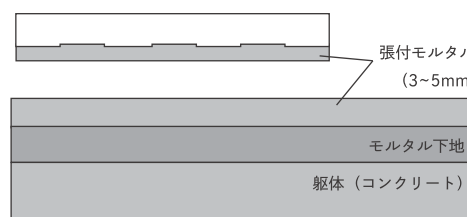
- ※ 下地は汚れを除去し、水湿しをおこなってください。



改良圧着張り（大きなタイルの施工）

張付モルタルは下地とタイル裏面両方に塗り付けます。
タイルをもみこむように張り、ハンマーなどでたたき押さえを行います。

- ※ 下地は汚れを除去してください。



タイルの基礎知識

ガラスタイルに関する注意点

ガラスタイルの採用・施工前に必ず下記をご確認ください。

ガラスタイルについて

- ガラス製タイルは光を透過しやすいため、目地・下地の色の影響で施工前と施工後では色合いが違って見えることがあります。
- 温度差の激しい場所では熱膨張の繰り返しによる破損の恐れがあります。
- タイル自体の形状や、カット・欠けによって、鋭利な箇所が含まれることがあります。取扱いには充分ご注意ください。
- クレンザーなどの研磨剤はガラスの表面を傷つけるため使用しないでください。

施工について

- モルタルでは施工できません。接着剤で施工をおこなってください。
- ガラスタイルを切断する場合は保護メガネを使用するなど、ケガのないようご注意ください。また安全のため切断面はサンドペーパー等で研磨してください。
- シリーズによっては下地や接着剤のクシ目が透けて見えます。その場合は白の接着剤を使用し、接着剤表面は平面に仕上げ張り付けてください。（例：セメダイン「タイルエース Pro（白）」など）
- 木質下地の場合、施工後にアクが出る場合があります。施工前にアク止めの処理を行ってください。

天然石モザイクタイルに関する注意点

天然石モザイクタイルの採用・施工前に必ず下記をご確認ください。

天然石モザイクタイルについて

- 吸水性があるため、インクや油が付着すると染みこんで取れなくなる恐れがあります。
- 若干の寸法誤差が生じる場合がございます。
- ランダムな石目模様があります。また石材中の成分で染みや色むらがあるように見えるものが含まれますが不良品ではございません。
- 酸洗い、酸性洗剤の使用はしないでください。また酸性やアルカリ性の洗剤、食品が付いたらすぐに拭き取ってください。
- 磨き仕上げの天然石の場合、経年によって光沢が落ちてきます。
- 梱包には十分注意しておりますが、タイルよりも柔らかい材質のため、欠けが発生する場合があります。余分のタイルと張り替えるなど現場でのご対応をお願いいたします。（破損の多い場合は無償交換いたします）

施工について

- 石材用接着剤で施工をおこなってください。（例：セメダイン「タイルエース石材用」など）
- 白色の天然石は、接着剤の種類によっては染みが出る恐れがあります。
- 木質下地の場合、施工後にアクが出る場合があります。施工前にアク止めの処理を行ってください。
- 天然石のためサビが発生する場合があります。水掛かりのある場所に使用する際は、撥水剤を塗布するなど保護してください。

タイルの基礎知識

セメントタイルに関する注意点

セメントタイルの採用・施工前に必ず下記をご確認ください。

セメントタイルについて

- セメントタイルは磁器タイルにはない柔らかさと温かみの特徴です。使用に際しては磁器のタイルとは条件が異なる部分が多いため、予めご承知の上ご検討下さい。
- 1枚ずつ手作りで作られているため、寸法、色調、厚みに若干の誤差が生じます。
- 表面の欠けが含まれる場合がございます。
- 大変柔らかい材質のため、欠けが発生しやすいです。取り扱いには十分ご注意ください。
- 吸水性が高いため、水濡れの多い場所には使用しないでください。
- 土足で歩行する場所にご使用の場合、汚れがタイルに吸着しやすいため予めご了承願います。

施工について

- 目地幅は2、3mm程度推奨です。欠けやすいタイルのため、出来る限り目地埋めを行ってください。
- ドライアウトを防止するため、目地セメントを入れる際はスポンジでタイルに水分を吸わせてから行ってください。
(撥水処理のされていない側面からの吸水性が非常に高いため、目地材は奥までは入らない場合があります)
- 黒系など色のついた目地材を使用すると表面に色が残りやすくなるため、できるだけ白の目地材を使用してください。

メンテナンスについて

- 工場からの出荷時点で表面にコート剤が塗布されていますが、時間の経過で少しずつ摩耗します。コート剤を重ねて使用する場合は、タイル表面に残っている古いコート剤の被膜はできるだけ落としてください。
- メンテナンス用品はタイルパークでは取り扱っておりませんので、クリーニング業者へご相談ください。